

令和6年度 1学年対象グローバル教育講演会について

1. 実施概要

(1) 実施の目的

第1回 語学教育の専門家から、外国語を学ぶ意味や、英語による国際コミュニケーションの話聞き、多角的な視野で物事をとらえる力につなげる。また、多様な考え方を身につけてそれぞれの前向きで充実した学校生活や進路活動につなげる。

第2回 グローバル教育の専門家から、海外との各種交流・グローバル教育に関わる研修等に関連する話を聞き、多角的な視野で物事をとらえる力につなげる。そして多様な考え方や視点を身につけてそれぞれの前向きで充実した学校生活や進路活動につなげる。

(2) 実施日時

第1回 令和6年10月28日(月) 6校時

第2回 令和6年11月11日(月) 6校時

(3) 講師

第1回 武蔵野大学 教育学部教育学科

特任教授 江原美明 様

第2回 一般社団法人グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)

ファウンダー・代表理事 辰野まどか 様

(4) 講演のテーマ

第1回 「英語学習および英語による国際コミュニケーションについて」

第2回 「グローバルな視野で活躍する人と出会う」

(5) 講演会の構成

第1回

13:20~14:05

5校時 授業参観 対象クラス:101CS I

14:20~15:10

6校時 講演(体育館)

第2回

14:20~14:40

端末の準備およびZOOMの接続確認

14:40~15:25

6校時 講演(オンライン)

2. 講演内容の概略

第1回

- ・ご自身の経験としての英語を通じた交流体験に関するお話
- ・英語学習に役立つワークショップ
- ・英語の力を伸ばしていくために必要なマインドセットについて



第2回

- ・ご自身の高校時代のグローバルに関連する体験に関するお話
- ・高校生世代の若者が視野を広げるために心がけてほしいこと
- ・各種の研修やイベントの紹介



3. 第1回講演会後のアンケートの結果（回答数 253/359）

今日のグローバル教育講演会を聞いて、英語学習とグローバル社会の関わりについて考えることができましたか。

←あまり考えられなかった			深く考えることができた→	
1	2	3	4	5
1 (0.4%)	1 (0.4%)	36 (14.2%)	98 (38.7%)	117 (46.2%)

今日のグローバル教育講演会を聴いて、英語学習を頑張ろうという気持ちに変化がありましたか。

←あまり変わらなかった			大変、前向きになった→	
1	2	3	4	5
1 (0.4%)	2 (0.8%)	46 (18.2%)	84 (33.2%)	120 (47.4%)

今日のグローバル教育講演会を聞いて、印象に残ったことや今後、頑張ろうと思ったことなど、自由に記述してください。(主な回答を抜粋)

今回教えてもらった勉強法を実践してみたいと思いました。 / 英語を学ぶことに前向きになって当たって砕ける事を恐れないことが大切だと感じました。 / 毎日英語に触れようと思った。 / もっと海外の人と英語で話す機会を増やそうと思いました。 / 私は今まで音読をするときにただすらすら読めるようにしているだけでしたが、お話を聞いて意味を考えながら読もうと思いました。 / 英語を若いうちから学ぶことが大切ということがわかったので、今日、話していた「英語日記」や「ひとりごと」を始めてみようと思った。 / 印象に残ったのはコミュニケーションを取ることや、「耳」「頭」を鍛えること、言葉を「思い出」とともに記憶に残すということ。 / バイトなどで英語を話したときの外国の人からの優しい言葉を思い出しました。 / 高校の英語は難しい文法を扱うので嫌いになりかけていたが今回の講演を聞き、もう一度頑張ってみようと思うことができました。 / 講義内容はもちろん、教授の話し方がとても勉強になった。人の興味をひく講義の仕方、飽きることなく最後まで楽しく聞くことができた。人との対話、体を動かす、具体的な体験談等、人に話を聞かせるときに重要なことだと思った。 / 自分は間違えたら嫌という意味を持っていたけど、英語は間違えてもいいんだとわかりました。将来英語圏ではないですが留学してみたいと思っているので、これからもたくさん勉強していこうと思いました。

4. まとめ

1年生の生徒を対象に全2回、グローバル教育講演会を実施した。いずれにおいても、生徒たちは自身が高校に通って勉強をしている意味や、自身の境遇についてよく見詰め直し考える機会とすることができたことがアンケートの回答からもうかがえる。今年度は10月・11月と続けて講演会を実施した。来年度以降は講演会の内容や、生徒の実態に応じて時期を検討し、月1回程度を視野に入れて、生徒たちの学習や、進路活動へ向かう効果的な動機づけとしていきたい。